

第 56 回

人間教育講座

社会の中でどう生きるか

理工学部では、現代社会の先導者として活躍されておられる方々に、世界観、人生観、哲学を語っていただく「人間教育講座」を企画・運営しています。塾生の積極的な参加を期待しています。

12月10日(木) 18時15分～19時45分

日吉キャンパスJ24番教室にて

流域思考と私の生き方

慶應義塾大学名誉教授

岸 由二 氏

(きし ゆうじ)



目黒川流域生まれ、鶴見川流域育ち。横浜市立大学・東京都立大学大学院を経て、1976年慶應義塾大学経済学部助手（生物学教室）。理学博士。生態学を専攻。ハゼ科魚類の進化繁殖生態にかかわる理論・実証研究ののち、進化生態学の理論をめぐる科学哲学論文で同教授。1984年より、鶴見川流域、小網代流域、多摩三浦丘陵等において、＜流域思考＞に基づく防災・環境保全型都市再生にかかわる理論・実践をすすめる。現在、NPO 鶴見川流域ネットワーク、NPO 小網代野外活動調整会議、NPO 鶴見川源流ネットワークの代表理事、慶應義塾大学・日吉丸の会顧問。以上の実践に加え、東北の復興国立公園におけるモデル的な回復事業や、南アジア低地帯の防災文化育成を支援する活動などもすすめる。都市文明を維持しつつ、温暖化豪雨・海面上昇時代を生きぬくための生命圏適応戦略の基礎となるべき実践的な哲学として、＜流域思考＞を構想中。国土交通省河川分科会委員、鶴見川流域水委員会委員。関連の著書に、『自然へのまなざし』（1996：紀伊国屋）、『環境を知るとはということか』（2009：養老孟司との共著・PHP）、『「流域地図」のつくり方』（2013：筑摩書房）、『いるか丘陵の自然観察ガイド』（1997：編著、山と溪谷社）、『奇跡の自然』（2012：八坂書房）など。進化生態学の世界的な名著『利己的な遺伝子（増補新装版）』（ドーキンス・2006：紀伊国屋書店）の共訳者でもある。

2015 年度

「人間教育講座——社会の中でどう生きるか」

会場 日吉キャンパス第4校舎 J24 番教室

対象 塾生（とくに理工学部1・2年）

参加について 参加費無料、事前申し込み不要。

問い合わせ先

慶應義塾大学理工学部「人間教育講座」事務局

電話 045-563-3978 E-mail: st-koza@keio-up.co.jp

詳細はこちらにて

<http://www.st.keio.ac.jp/koza/>

社会を知る
自分を知る
自分を育てる

主催 慶應義塾大学理工学部